



北海道 環境企業 データBOOK 2017

北海道で環境ビジネスに取り組む
企業501社(767事業所)を紹介

企業検索webサイトはこちら [北海道経済局環境ビジネス](#)

検索

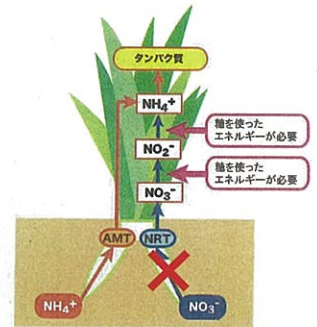
腐植化技術の活用で、土壌の硝酸化を抑制する画期的な循環型資剤

環境ビジネスの概要

同社は国際腐植学会に発表した腐食様物質の関連技術によって、腐植化のための資剤(鉄触媒)と利用システムの研究開発を行い、緑と環境の保全、農林水産業の生産向上、循環型社会の構築に貢献している。また、循環型新機能性スラリー専用消臭剤「Quick2」を開発・販売。現在は標津町が生産拠点だが、今後はノウハウと触媒を提供し道内5カ所の拠点体制をめざす。近年では(株)熊谷組と連携し「銀座ミツバチプロジェクト」に参画。採蜜用花を植えるハニカムプランターに、この触媒で腐植化した標津町の土が使用された。

特色のある事業・技術

「Quick2」の2大特徴は、1.スラリーに投入後、瞬時に「臭わない」と実感でき、安定持続する「消臭力」、2.硝酸塩の害を減らし、植物の成長力を高める「硝酸化抑制効果」。腐植化反応による分解・再合成が、悪臭の原因となるアンモニアや硫化水素のガス化を抑制する。さらにスラリーの酸化(硝酸態窒素の増加)を抑えるため、土壌や牧草への浸透で起きる牛の硝酸塩中毒や地下水汚染も防止。植物に有害な硝酸を減らし肥料成分となる窒素を残す効果(AMT(※))によって、無処理スラリーを散布した場合よりも、牧草の高収量・高品質の実現が確認されている。応用例としては、道内では標津地域のエネルギー作物(ヤナギ)の栽培や、海外ではスリランカのミルク工場排水処理施設汚泥をQuick2で腐植化し再利用する事業などにも使用されている。



※AMT:アンモニウムトランスポーター
NRT:硝酸トランスポーター



右がQuick2処理済みスラリーを散布した土地の牧草。生育度が明らかに違う

会社概要

旭川市9条通2丁目2346番地1
TEL.0166-22-8525 FAX.0166-26-5219
■設立/昭和48年 ■代表取締役/菅野 新也 ■資本金/1,000万円 ■従業員数/5名

地球環境を守れる紙を！廃棄されるバナナの茎をアフリカザンビアバナナペーパーに

環境ビジネスの概要

ベストセラー本「ちっちゃいけど、世界一誇りにしたい会社(ダイヤモンド社)」にも紹介されるなど、エコ名刺業界No.1の実績と、全国・海外に延べ6万人超の顧客を持つ同社は、ペットボトル、道産小麦わら、ホタテ貝殻、牛乳パック、デニムなど計14種のリサイクル紙で名刺を制作。売上の1%を環境支援活動などに寄付してきた。「地球環境を守れる紙が作りたい」との思いから、アフリカザンビアバナナペーパーを開発し、バナナ名刺を世に送り出す。現在は賛同者・企業を募り、より多種多様な製品化を実現すべく推進中。

特色のある事業・技術

バナナはわずか数ヶ月で成長し、収穫時には切り倒され廃棄されるが、その茎の繊維がパルプに最適であり、もし全てのバナナ茎を使用すれば世界中の木を1本も切らなくてすむとも言われている。それを知った同社は、エコ名刺の顧客であり、環境保護に取り組んでいる(株)ワンプラネット・カフェ代表のペオ・エクベリ氏と共に、アフリカ・ザンビアの小村にバナナ繊維を取り出すための拠点(現在はソーラー発電完備の工場)を設ける事業に着手、正規の職業を持つ人が少なかった現地に安定した雇用を実現させた。原料は福井県の和紙工場バナナ繊維22%を含有する紙に加工。平成28年、紙として日本初のフェアトレード製品に認証され、現在、世界的有名企業が包装紙やタグに使用している。同年、札幌青年会議所「札幌アワード住環境部門」大賞を受賞。



女性たちが楽しそうに働く



新工場にはバナナ繊維加工機械を導入。大量生産体制へ

会社概要

札幌市豊平区平岸6条12丁目11-2
TEL.011-837-9636 FAX.011-837-9919 <http://www.nissindou.co.jp>
■設立/昭和57年4月8日 ■代表取締役社長/阿部 晋也 ■資本金/1,000万円 ■従業員数/7名